

応報

あさひ

58年

4月号

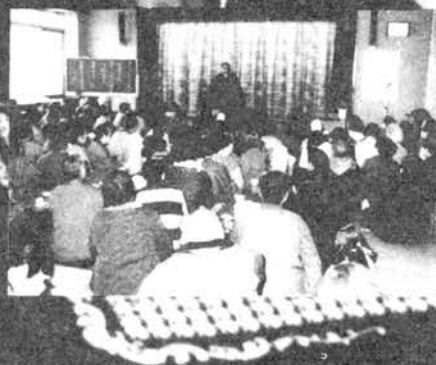
No.332 / 毎月1日発行

編集・発行／朝日町役場 〒939-07 富山県下新川郡朝日町沼保810-5 ☎電話／07658-③-1100

—健康づくりシリーズ—

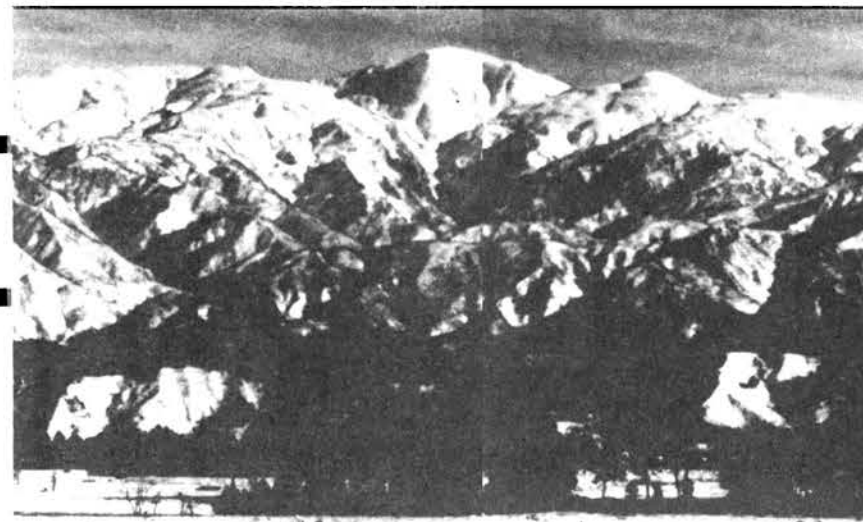
身も心も健康で生きがいある老後を!

—老人保健学級開かれる—



昭和58年度予算スタート

一般会計 34億3,713万円



活気に満ちた魅力ある郷土づくりに

朝日町の今年の町づくりの基本となる昭和58年度予算が決まり、4月からスタートしました。これは、向こう1年間の「町の台所」をまかなう金で、町民生活と密接に結びついた金です。町民一人一人から集められた税がどのように使われていくのか、予算のあらましを紹介します。

特別会計 15億3,251万円

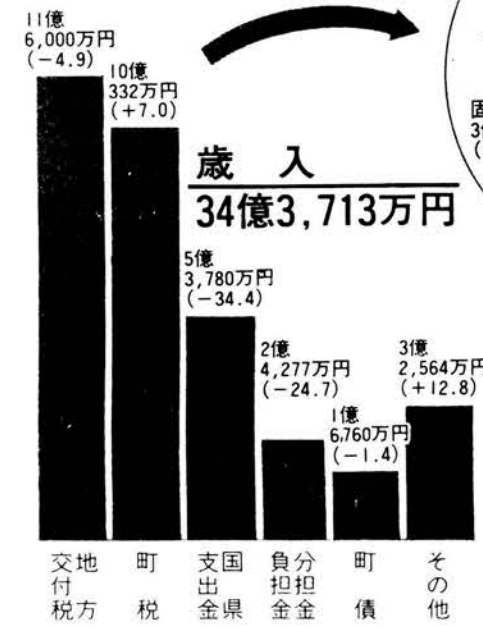
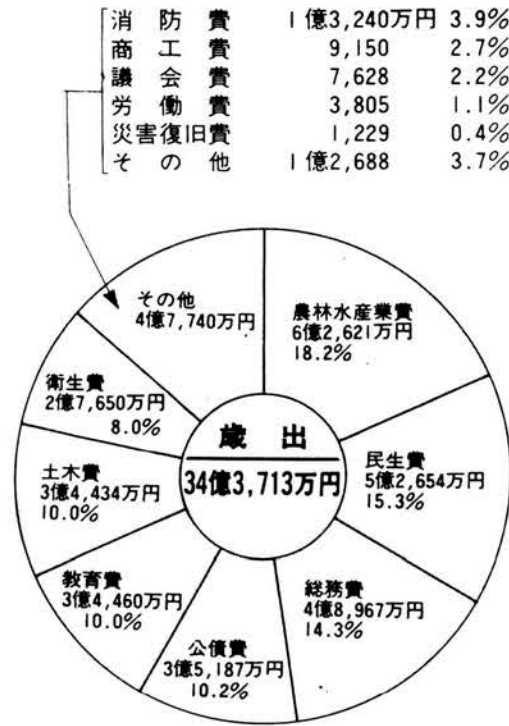
1. 国民健康保険特別会計 662,288千円
2. 老人保健医療事業特別会計 803,631千円
3. 笹川診療所特別会計 10,141千円
4. 宮崎診療所特別会計 7,372千円
5. 境診療所特別会計 15,485千円
6. 簡易水道特別会計 29,163千円
7. 南保外二地区用水特別会計 3,975千円
8. 加藤奨学資金特別会計 117千円
9. 保健文化賞基金特別会計 341千円

泊病院事業会計 16億7,956万円

一般会計・特別会計・企業会計合わせて66億4,920万円で、前年度に比べ25.6%の伸び率となりました。

厳しい財政事情
一般会計予算の総額は34億3,713万円です。この予算規模は、昭和57年度予算（当初）に比べて、3億2,166万円（8.6%減）となりました。
昨年と比べて減額となったのは、58年度から老人医療費が特別会計になったことと公営住宅、保育所などの建設事業が57年度で終了したためです。

歳入は歳入全体の29.2%
それぞれの家庭にも「収入」や「支出」といった家計があるように、町にも「歳入」「歳出」という財政があります。
そしてこの「歳入」は、私たちが税金という形で国、県、市に支払ったもので構成されます。（国や県に支払った税金は、地方交付税や補助金として町の歳入になります。）そこでまず歳入から見ると、その基礎になるのはなんと町税



- その他の内訳
- ・地方譲与税…………… 3,080万円
 - ・自動車取得税交付金…………… 2,840万円
 - ・交通安全対策特別交付金…………… 82万円
 - ・使用料及び手数料…………… 4,882万円
 - ・財産収入…………… 6,755万円
 - ・寄附金…………… 320万円
 - ・繰入金…………… 5,000万円
 - ・その他…………… 9,605万円

町長の施政方針

これは、3月10日の議会定例会で、寺崎町長が表明した「施政方針」のなかから、昭和58年度における豊か

住みよい町づくりのために
すべての町民が健康で豊かな人間性ある文化的生活を享受できる美しい自然の住みよい町にするため、これに必要な社会福祉、町民の健康づくり、道路交通網及び住宅など諸条件の充実に努めることが町政の最も基本的な責務と考えています。そこで今年度は、ひとり暮らし老人への寝具乾燥や入浴サービスをはかる在宅福祉対策事業の充実や特別養護老人ホームの建設に向けた基礎調査を実施するほか、町民の健康づくりのために、従来の健康センターを中核とした保健事業に取り組む所存です。

活気に満ちた魅力ある郷土づくりを目標に

町長に就任以来、今日まで約9カ月その間に永年の夙願でありました、朝日小川発電の着工、北陸自動車道第7次区間の事業着手、公民館や町営住宅など諸般の実現をみたことは、関係各位のご理解とご協力があつたからこそ深く感謝申し上げます。さて、私は今日まで一貫して、明日の朝日町を築く若い人達が一

豊かな人づくりのために
明日の朝日町を担う小・中学生のために、昭和54年度から取り組んできました「朝日町の自然と文化」を発刊し、学習のなかで活用しながら、朝日町の自然と人とのふれあいやすばらしい先人の知恵、あるいは古いもののなかにも学ぶべきものがある

活力ある産業づくりのために
農林漁業を積極的に振興してまいりますが、「活力ある産業づくり」の最も重要な課題として、農村地域の就業機会の拡大と生活環境の整備により地域への定住を促進する「農村地域定住促進対策事業」への取り組みをはじめとして、若い人達の雇用機会を増やすために企業誘致を積極的に進めます。

開かれた町政を展開
開かれた町政を推進するために、従前からの「町長と語る会」を計画的に開催するほか「町長へのたより」制度を採用し、町行政と町民との対話づくりに努め、ふれあいと連帯感を深め、町民のなまの声を町政に反映していきます。

行政を推進するために

現在の庁舎は、著しく老朽化

消防費
6,993円

土木費
18,187円

商工費
4,833円

社会教育費
2,663円

衛生費
14,604円

小学校児童
83,507円
(児童1人当り)

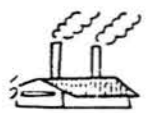
保育園児
481,634円
(園児1人当り)

電気税
2,739円

たばこ消費税
3,584円

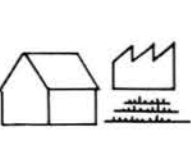
固定資産税
18,249円

町民税
(個人分)
23,959円



使われるお金

一人当たりの
(人口は昭和58年3月1日現在)



負担する税金

活力ある産業づくりのために

農業関係については、58年度から2つの事業を導入します。ひとつは、農村地域定住促進対策事業で「農村地域の定住を促進するため、就労機会の拡大と生活環境の整備を図り、農村に活力を与える」ことを目的に、58年度中には全体計画を作成します。もうひとつは、新農業振興地域整備事業で、優良農地の保全と生活の場の適正配置など調和のとれた土地利用するため、2ヵ年で、いわゆる農振の見直しをします。商工関係については、企業誘致を積極的に推進するため、58年度から企業立地奨励事業補助制度を創設し、若い人達の定住や雇用の拡大に努めます。観光対策では、「朝日町の観光を考える20人委員会」を設置し、滞在型観光開発に取り組みます。

観光開発のために
15,057千円
○朝日町の観光を考える20人委員会 150千円
○県立自然公園整備 4,050千円

農林水産業の振興のために
577,028千円
○水田利用再編対策 37,250千円
○農林漁業祭 500千円
○農村地域定住促進事業 1,138千円
○新農業振興地域整備事業 2,500千円
○農道舗装等整備事業 103,589千円
○農村総合整備事業 120,108千円
○広域基幹林道開設事業 7,139千円
○林道開設・舗装事業 22,762千円
○山村振興事業 54,848千円
○地域沿岸漁業構造改善事業 25,087千円

商工業の振興と雇用の拡大のために
114,490千円
○企業立地奨励事業 3,000千円
○商工業融資資金制度事業 47,000千円
○商工会館建設助成 10,000千円

町政を推進するために

新庁舎の建設に向けて 102,875千円
一般行政の充実のために 608,434千円
○町長へのたより 100千円
○印鑑証明事務改善 3,711千円
○町誌編さん 4,877千円
○新川広域圏事業負担金 76,648千円
公債費 351,875千円
予備費 24,000千円

豊かな人づくりのために

明日の朝日町を築く青少年に夢と希望を与え、活気に満ちた町づくりをめざして、「若人のふるさと祭」を企画するとともに、学習の中で町を理解してもらうために「朝日町の自然と文化」を発刊します。また、不動産遺跡には自動映写装置を設けます。

明日を担う小・中学生のために
266,946千円
○教材用備品の購入 17,152千円
○「朝日町の自然と文化」発刊 2,550千円
○児童・生徒心臓検診 575千円

豊かな人間形成をめざして
40,533千円
○若人のふるさと祭 500千円
○各種学級講座開設 490千円

芸術文化の町づくりに
9,879千円
○不動産遺跡防災事業 3,598千円
○美術展開催 1,218千円

町民の体力づくりに
27,242千円
○各種スポーツ教室・講習会 503千円
○学校体育施設の開放 2,438千円
○スポーツ少年団交流事業 180千円

住みよい町づくりのために

近年の町の高齢化社会に対応する福祉の充実については、新しく特別養護老人ホームの建設調査費を設けたことや当町の医療受診率が従来から高く、医療費も県下市町村のなかで上位を占めているので、健康に対する保健事業を従来にも増して強化します。また、交通網の整備については、都市計画事業をはじめ、消雪装置、流雪溝の整備、除雪機械の購入など、雪に強い町づくりを進めています。災害対策については、救助工作車や救急車の購入配備をします。

社会福祉の充実に
522,148千円
○特別養護老人ホーム建設調査費 600千円
○身体障害者タクシー助成 366千円
○在宅福祉対策事業 470千円
○保育所の運営費 372,303千円

住宅対策に
2,061千円



健康づくりに
276,498千円
○成人病対策、住民検診、予防接種等 67,709千円
○各種医療費 35,432千円
○老人保健医療事業会計繰出金 40,336千円
○病院事業会計への助成 49,620千円
○町土美化運動 1,252千円
○清掃事業 35,935千円

道路交通網の整備に
335,069千円
○道路の補修・改良・舗装 76,356千円
○道路特別改良事業 44,000千円
○都市計画事業 53,132千円
○無雪害街づくり事業 120,263千円

郷土を災害から守る
162,990千円
○急傾斜地崩壊対策 3,512千円
○治山事業 10,000千円
○救助工作車購入 30,480千円
○救急車購入 4,980千円
○災害復旧事業 12,289千円

一般会計(当初)予算のうつりかわり

34億3,713万円、このお金が「歳出」として、道路整備や福祉・教育の充実などの目的に使われます。「億単位の町の予算」も実は決して「雲の上の数字」ではなく、私たちの暮らしと密接なかわりを持っています。町民のいろいろな要望を実現する事業実施の財源は、あいかわらずの厳しさで、出ていくお金「歳出」の節減合理化について、今後いっそうの努力が必要です。

最近10年間の一般会計予算のうつりかわり



みんなの広場

みんなの広場は、みなさんのページです。あなたの言いたいこと、あなたの仲間たちや友人の紹介、仲間を集めたいときや探しの・売りものなど、どんなことでもけっこうです。役場広報係までどしどしお寄せください。

感謝の心を忘れずに

3月2日に、朝日中学校念願の校歌ができ、その制定式が行われました。

そこで今回は、朝日中学校校歌の作曲を心よく引き受けられたピアノリストで作曲家の川崎祥悦氏にスポットをあててみました。

スポットライト

朝日中学校校歌作曲者
川崎 祥悦氏

▲川崎さんは、青森市で昭和7年に生まれ、現在は50歳。今は、東京練馬に住んでおられます。氏は、昭和30年3月に東京芸術大学作曲科を卒業され、ステージや放送、レコード等で作曲活動及び演奏活動を読みながら、小・中学校及び高校の音楽教科書（教育芸術社版）の編著者として活躍され、日本作曲家協会々員、日本音楽著作権協会々員になっておられます。

にむかって「海の詩」「今はくたちは」「祈ろう心こめて」などがある。

なお、ラジオドキュメント番組「歌が呼んだ歌」の作曲により、昭和56年度芸術祭大賞を受賞しておられます。

ここで、氏が校歌制定式で述べられた言葉を引用し、氏の人



となりの紹介に代えたいと思います。

「私は、いくつもの歌に曲をつけてきました。曲をつけるときは、詩の持つ心を大切に作ってきたつもりです。皆さんが、いつかどこかで校歌を思い出したときは、その「心」を覚えていただきたいと思います。私は、皆さんから「ありがとう」という言葉をいただき本当に嬉しく思いました。それは「ありがとう」の言葉の中に皆さんの「心」を感じることです。それと同じで、校歌にも「心」があることを忘れないでほしいのです。」

さて、私は皆さんにお願いしたいことが2つあります。一つは、一つのことに打ち込むことです。私の場合は、音楽でした。もう一つは、感謝する心を忘れないことです。友人、両親、先生、社会、生きとし生けるものすべてによって「自分がある」ということ、理解してほしいのです。

この2つのことを心に留め、未来に向かって歩いていただきたいと思っています。」

▲校歌制定式で指揮をとる川崎氏

なかまたち

朝日レクリエーション協会

私たちの朝日レクリエーション協会は、誕生してまだ日が浅く、ようやくその活動が軌道にのってきたというところです。協会誕生のきっかけは、「身近にできるスポーツ教室」の開催でした。教室が終わったあと、「もっと続けてやりたい」とい

余暇の有効と創造性をはぐくむ

は女性でほとんどがママさんたちです。そのため協会の活動としては「余暇の有効な過ごし方を考えるが、創造性をはぐくみ、自己表現の機会をつくる」ということを目的として、月に2回程度集まっています。

また、私たちが行っている大きな行事としては、各地区へレ

クリエーションの普及をはかるために走り回っています。自主事業として昨年の秋には「ジャズ・ダンス」講習会を開き、町内外から約80名の参加を得、大変好評でした。そのほか、オリエンテーリングやビーチバレーボール、フレッシュテニス、ゲートボールなどのルールや実

技を学んでいます。県、市の各種指導者講習会にも参加し、参加していない会員にも伝えるというようにしているため、会員全体の腕は、ずい分と上達しました。

今後は、今まで学んだことを生かし、いろんな場で活躍したいものと思っています。



このように私たちの協会は月2回の活動ではありますが、コミュニケーションの場ができ、それが力強い輪となって、にぎやかなうちにも地道に実力をつけてきているすばらしい仲間たちの集まりです。

▲会員の中でも熱心に皆さんの世話をしている方々

国民年金相談室

④

問 国民年金の加入の手続きはどうするのですか。

答 20歳になったとき、あるいは勤めを始めて自分で仕事を始めるようなときに、つまり法律の上で、強制加入被保険

者」となったときには、すぐ（14日以内）に役場の窓口へ届けを出せばよいのです。また、主婦や学生の方も加入したいと希望したときに届けを出せばよいわけ

です。書類は、当然加入が任意加入

かです。国民年金の加入の手続きは、国民年金の加入が任意加入

かです。国民年金の加入の手続きは、国民年金の加入が任意加入

問 私は外国籍で日本国内に住居がありますが、国民年金に加入できるでしょうか。

答 昭和57年1月1日より日本国内に住居を有する外国籍の方も国民年金に加入できることになりました。詳しくは役場国民年金係へご相談ください。

婦人労働講座

パート4

「妊娠中と出産後の健康管理について」



▲ほけない音頭をひろうる婦人たち

妊娠中や出産後の婦人労働者にとって仕事の内容や通勤の状況などは、母体の健康や胎児の発育に大きな影響を及ぼします。このため、労働基準法で軽易な仕事への配置換えなどを規定しているほか、勤労婦人福祉法では、次のような措置を行うよう事業主に要請しています。

(1) 妊娠中や出産後の婦人労働者

者が母子保健法の規定による保健指導又は健康診査のために必要な時間の便宜をはかること。

(2) 婦人労働者が、保健指導等に基づき指導事項を守ることができるよう次の措置を行うこと。

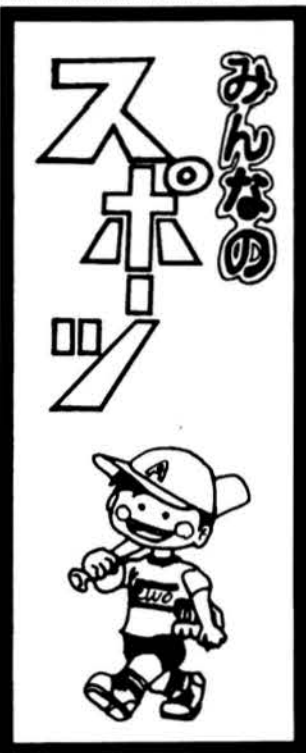
ア 通勤に利用する交通機関の混雑が母体又は胎児の健康保持に支障があるときは、勤務時間の変更や短縮を行い、たとえば通勤ラッシュを避けるための時差出勤や妊娠中の婦人に対して、遅刻や早退を認める。

イ 妊娠中や出産後一年以内において、時間外労働や深夜労働をさせないようにする。

ウ 必要に応じ補食時間を設けるなど、休憩時間の長さ、休憩の回数など休憩に関し適切な措置を行うこと。また、できるだけ身体を横にして休むことのできるような休養設備を設けること。

エ 妊娠、出産に伴って生ずる各種の症状等について、医師などの指導に基づいて、具体的な措置を行うこと。

労働省では、これらの母性健康管理活動を推進するため、婦人労働者が常時50人程度以上の職場に「母性健康管理推進者」を設置するよう呼びかけています。



優勝旗は泊三区へ

体協総合優勝決まる

単に競技の成績点だけでなく、参加点を取り入れて、なるべく多くの人が参加するようにと、57年度から新たに総合優勝制度が発足しましたが、去る3月13日のバスケットボール大会をもってすべての大会日程(行事)を終了し、優勝地区が決まりました。第一回の総合優勝は、わ

ずかの差で泊三区に決まり、次勝は大家庄地区、三位は五箇庄地区となりました。また、大会を通じて参加率が70%以上の泊一区、泊二区、山崎の三地区が努力賞を受賞しました。

58年後は、全地区が努力賞でなく、参加点で満点をとり授賞されるよう期待しております。

スポーツ少年団員募集

スポーツ少年団では、58年度の団員を募集しています。スポーツ少年団は単にスポーツを行うだけでなく、同じ目標に向かって汗を流すことにより、協調性を養い、身心の鍛錬を強化することを目的としています。

“お父さん、お母さん”、一度お子さんをこの少年団に入れて、お子さんの成長をながめてみませんか。

種目は、バドミントン、ミニバスケット、柔道、剣道、ソフトボール、サッカー、ラグビー、卓球、野球の9種目あります。

なお申し込み、詳細については、教育委員会又は総合体育館へお問い合わせください。

スポーツ少年団

親子スキー研修会を実施

去る2月26日、27日の両日、今年で2回目となる朝日町スポーツ少年団親子スキー研修会が新潟県赤倉スキー場において、指導者や団員・父兄など総勢93名を集め実施された。

この研修会は、団員の健全育成とともに、スキーを通じ団員相互の協調性と連帯感を養い、少年団活動をより充実する目的で開催されたものですが、話し合いの中では、これからの「母集団」の育成についても大いに論じられその成果が期待されます。

仕事の合い間に椅子を使って



健康はチョットした

気づかいから

少しでも、毎日つづければ大きな成果につながります。

①図の説明

- ①大きく背のばし
- ②体浮かし
- ③かかと浮かし
- ④足ふり
- ⑤肩たたき足つまみ
- ⑥足まわしや上下
- ⑦腰かけて立つをくりかえす

●スポーツと健康⑧

愛の献血

協力者名

2月実施分

- 境地区 水島敬太、水島勝義、水島武儀、水島清隆、水島あつ子
- 宮崎地区 岩谷英樹、河内春男、水島光久
- 笹川地区 長井いずみ
- 泊一区 佐々木和弘、魚住一広、藤沢武志、板川恵、粉光美和子、米沢悦子、武田睦秀、田中儀一、藤沢久夫、井上伸也、泉裕一、島端弘子
- 泊二区 内山之夫、寺田正美、大平仁人、鍋島茂、橋本裕一、島田幸彦、後藤幸次、村口憲二、大谷晃一、魚住智子、松原隆義、米田正克、新保植美、米田尚、水島功喜治、舟見恵一
- 泊三区 内山正、大村英樹、江瀬初浩、中陣謙一郎、砂田良弘、名取賢一、館美智子、間部敏博、松澤正一、岩田嘉信、平野清彦、小久保達也、沢田真澄、岡島淑子
- 五箇庄地区 岡島育、大島和浩、西村敏雄、山手幸正、佐渡聖克、吉江勝春、殿村和子、尾崎和代、松田誠
- 南保地区 清水親志、道用利雄、長谷弘子、長谷栄子、谷口敏彦、道用紀子
- 山崎地区 久我口稔、中野由紀美、川原光雄、名古屋岳弘、仙名武、真部進、七沢日登美、愛場優二
- 大家庄地区 藤井英樹、鍛冶秀根、池田利秀、青木千代美、岡田義憲、森野繁樹、石橋清山、崎美由紀、小川滝子、沢田孝樹、坂口啓治、大久保喜八郎、西島俊明、広川昭義、野村修、水野誠、由井秀史、藤井満美子

スポーツ 行事成績

熱気に舞ったボール

ビーチバレーボール大会

去る2月22日(火)から25日(金)までの4日間にわたり、ビーチバレーボール大会が、町総合体育館で男女54チーム318名が参加して行われました。

この大会も、回を重ねるごとに参加チームが増え、着実に普及しているように思われます。成績は次のとおりでした。

◆男子一部
優勝 宮崎MBC(B)チーム

副谷 俊成 水島 義則
佐田 之夫 竹谷 尊仁
次勝 月山チーム
永井 嘉隆 重野 弘
松沢 正隆 長井 一雄
沢田 忠男 館 繁忠

◆男子二部
優勝 ウル星ヤツラチーム
水島 静夫 河内 登
岡本 輝夫 室口 征雄
大菅 隆夫

次勝 宮崎MBC(A)チーム

◆男子一部
優勝 泊二区 次勝 泊一区

◆女子一部
優勝 南保 次勝 泊三区

◆女子二部
優勝 泊二区 次勝 泊三区

第23回町民

バスケットボール大会

◆女子一部
優勝 345チーム
水島 光代 大村 昭子
青木 諄子 大蔵 恵子
古市みどり

次勝 宮崎体協チーム
加藤 松子 大浜佳代子

◆女子二部
優勝 健康体操チーム
高島美和子 石井多加子
清水美和子 住吉千鶴子
鍛冶 正子 坂本ゆみ子
次勝 平柳イルカチーム
田島 美子 平坂美津子
黒坂 恵美子 平坂あき子
黒坂 道子 藤田 順子



4月の けんこう

春の生活チェック

春はねむたい季節

春に居眠りが多く、だるく疲れた気分になって眠くなるからだとおっしゃる方がいます。また、気温が上がって新陳代謝がさかんにになると、体内でのエネルギー代謝に密接な関係があるビタミンB₁が不足して、だるさを感じるようになることも

いわれています。

こうした春のだるさや眠さに

“花冷え”など季節の変わりめに注意

薄着に慣れよう!

春の天気は気まぐれで、暖かい日がつづいた後、急に冬に逆もどりましたような寒さになることがあります。

桜の花の咲く頃には、しばしば寒さがぶり返し、花冷えとも呼ばれています。こんなとき、私たちのからだは、気候の変化

や自律神経の作用が天候に忠実に微妙に変化し、たとえば皮膚血管が広がって発汗したり、あるいは収縮したりする現象を繰り返します。

季節の変わりめは、睡眠不足や過労を避け、健康に気をつけましょう。とくに持病の人や老年者はカゼなどひかないよう十分に注意したいものです。

抵抗力をつけるために、寒くない程度に薄着を習慣づけていきましよう。

2月20日～3月20日

特別養護老人ホーム建設準備会発足

朝日中学校歌制定式举行

東草野	赤川	赤川	辻岩崎	三枚橋
徳竹	濱川	濱川	谷	藤田
はる	由蔵	理一	谷	久次
81	80	57	100	53
			秀永	
			二太	
			道	
			79	
			90	
			上	
			不	
			き	
			く	

おくやみ



小川温泉元湯で火災避難訓練

朝日町議会定例会開催

朝日中学校第1回卒業式

▲校舎前で在校生に見送られる卒業生

各小学校で卒業式

櫻	町	水島悖二	長女	重利
櫻	町	南茂忠辰	長男	優利
櫻	町	南茂	満長女	依史
小	更	柚木憲昭	二男	康志
殿	町	清水富美夫	長男	一成
横	水館田修司	長男	裕	脩

作改良·集落富農等表



宮崎竹谷 稔二男 卓
中三浦町 秋山明夫 長女 朋香
上町谷 芳郎 長女 有里子
東草野 鸛 欣司 長男 浩正
東草野 佐渡 昇二女 知重紀
松涛町 横山嘉宏 長男 薫
向陽町 羽黑敏之 長女 愛美

消防庁長官表彰

〔永年勤続功労章〕
第5分団分団長
荒川与三次



日本消防協会表彰

[功績章] 団本部副団長	村口 隆造
[勤続章] 第6分団部長	金森 徳政
["] " "	水島 暁

富山県知事表彰

〔功績章〕第1分団長 谷口 宅郎
〔精勤章〕第2分団部長 坂口 一雄

富山県消防協会表彰

[功績紅花章]	団本部団長	鹿熊 安正
[功績青花章]	消防本部	佐渡与志雄
[功績黃花章]	3分団副分団長	西田 鉄夫
[勤続緑花章]	4分団副分団長	後藤 幸次
	4分団部長	上沢 和雄
	5分団班長	村口 靖郎
	2分団団員	大久保伊長
	" "	坂口 弘
	1分団班長	水上 義雄
	4分団 "	西岡 正夫
[勤続銀章]	3分団団員	中山 徹
	" "	西村 元成
	" "	谷田 直造
	4分団班長	越沢 久行
	6分団団員	田原 忠正
	1分団 "	九里 幹夫
	2分団 "	小川 勇
	" "	山田 一義
	" "	藤岡 繁松
	" "	由井 久也
	5分団 "	九野木幸雄

〔勤続銀章〕	5 分団団員	松倉 秀夫
	〃 〃	丸山 成行
	1 分団 〃	長津 正夫
	〃 〃	水野 敏男
	5 分団 〃	高木 英三
〔優良機関員章〕(青色章)		
	5 分団班長	石島 三郎

島端 桂子(5分田島端武雄の妻)
長井 登子(5分団長井宗義の妻)
金森ツユエ(6分団金森徳政の妻)
水島スミ子(6分団水島 暁の妻)
〔永年勤続退職者感謝状〕

元 団 本 部	副 団 長	上 沢	源 次
"	"	寺 田	知 勝
" 3 分 団	部 長	田 中	幸 雄
" 6 分 団	班 長	水 島	啓 三
" "	"	水 島	要
" 2 分 団	団 員	井 口	一 郎
" 4 分 団	部 長	浜 川	啓 太 郎
" 3 分 団	班 長	河 村	鉄 男
" 消 防 本 部	司 令	平 柳	米 雄
" "	司 令 補	寺 田	隆

〔保全整備優秀消防ポンプ車〕

6 分 団 1 号 車

〔朝日町消防協力者表彰状〕

朝日町道下322の6	内山 正
朝日町道下322の5	井上 恒好
朝日町上町60	魚住 久雄
朝日町泊835	増山 仁

善意の預託

朝日町善意銀行

社会福祉のためにと次の方々から善意の預託がありました。

■南保 江刈泰子さんより
7,178円

■桜町 南部とよさんより
10,000円

■上町 晶山文子さんより
ノート20冊、下じき10枚、鉛筆20本、消しゴム20個を恵まれない子供たちへと寄付

■境 渡辺節子さんより
1,438円

おめでた
と
おくやみ

本の紹介

「サツキ百科」

西東社

サツキづくりは、年々愛好家が増え、ますます盛んになっています。ほとんどのサツキが、1つの木で花色、花柄を多様に咲き分ける特徴をもっていることや、品種が300種余りにもあり、様々の花を楽しめることなどが大きな魅力になっているのでしょう。しかし、いざ育てるとなるとたくさんの知識が必要となってきます。

この本は、これからサツキづくりを始めようとする方が、少しでも失敗を避けられるように、よい苗木の選びかたから植え替えのし方、盆裁の作り方、毎月の管理方法などを写真を用いてわかりやすく解説しています。



新しい本

ひとひらの雪 上下 渡辺淳一
夢の壁 加藤幸子
影の姉妹 佐々木丸美
自民党を10倍おもしろく見る本 菊地 久



本の貸出券

書き替えをしています

貸出券の有効期間は4月1日から翌年の3月31日までです。現在お持ちの貸出券は昭和58年3月31日で使えなくなりました。早めに書き替えをしてください。書き替えは、図書館のカウンターにある「貸出申込書」に氏名、住所、電話番号を記入するだけで済みます。貸出券は1人に2枚つくりま

新しい読書会の会員を募集しています。同じ本を読み合って感想など語り合うのはいかがでしょう。仲間とともに読み、語り合うのは、楽しいものです。

プロ野球仁義なき大戦争 江本孟紀
妻たちの思秋期 斎藤茂男
ちよつとすてきな女たち 西川勢津子
ベストビジネスマンへの道 鈴木健二
おもしろ学校の日々 名取弘文
伊和中辞典 小学館
戦国・幕末の群像・織田信長 旺文社
新編国歌大観 全5巻 角川書店
歴史をつくる女たち ⑧ 私たちは挑戦する 集英社
いともしき男たちよ 小池真理子
気ばたらきOL常識集
越中の街道と石仏 住友商事人事部
塩 照夫

れんげ読書会

日時 4月20日(水)
午後1時30分
会場 福祉センター
茶道室

テキスト

日本のおんな
平岩弓枝著



▽広報あさひ4月号をお届けします。
▽今月からは、広報の発行日が早くなり毎月1日となります。
これは、広報お知らせ版の中に町民生活カレンダーを設け、みなさんが見て綴るだけの広報から、使える広報紙にしようという目的があったからです。生活カレンダーを見やすい所に貼って利用してください。
▽さて、昭和51年の4月号から写真で見る伝説として掲載してきました「郷土の伝説西東」は、先月号で84話を数えましたが、先号をもって休ませていただくことになりました。機会がありましたら、また掲載したいと思っています。この原稿は泊橋町の清原芳さんの筆によるもので、清原さんには大変なご苦勞を願いました。なお、清原さんは、この伝説西東を昭和57年3月まで集録した冊子(神楽部語)として発行しておられます。